

国語

早稲田大学 法学部 1/2

問 十 二	問 十 一	問 九	問 八	(一)	問 七	問 六	問 五	問 四	問 三	問 二	問 一	(一)
口 ハ	口 イ	以 常 理 斷			ハ	口	口	ホ	イ	ハ	口	

国語

早稲田大学 法学部 2/2

問二十一	問二十二	問二十三	問二十四	問二十五	(四)	問二十	問十九	問十八	問十七	問十六	問十五	問十四	問十三	(三)
------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

ロ	ニ	ホ	ホ	ロ		イ	イ	ニ	ロ	ロ	イ	ハ	A	
---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	--

素朴

B 硬化

シベリア抑留を生きのびた石原吉郎は、過酷な生の状況下、詩作によつて例外状態の被害者ではなく主体的行為者として再生を遂げた。生政治が生を被いつくしている今日、恒常的な暴力とそれに抵抗して生きる、こうした主体の過程を解明するため、生政治学は、生政治の生み出す例外状態の考察にとどまらず、生権力の内部に包摂されるはずもなく外部に広がる生命にこそ目を向ける必要がある。（180字）